

整理番号	32006
評価対象年度	令和4年度
編成区分	当初

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和3年11月29日
事業担当課	農林振興課

《基本情報》

事務事業名	有害鳥獣対策費 〔新規〕長崎市提案型協働事業費		<input checked="" type="checkbox"/> 新規
			<input type="checkbox"/> 拡大
基本施策	C5 農林業に新しい活力を生み出します		
基本施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	農林業者が	安全・安心で新鮮な農林産物を安定的に供給し、経営が安定している。	
個別施策	C5-3 安心して農林業を営む環境づくりを進めます		
個別施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	農林業者が	安心して農林業を営んでいる。	

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	イノシシやカラスなどの有害鳥獣被害に対しては様々な対策を行っているが、依然として、農作物が食い荒らされる被害や住宅地・通学路に出没したり法面・石垣を崩したりする生活環境被害がある。 イノシシの捕獲頭数は伸びているが、実態数の把握ができないままに対策が行われていることから、地域によっては被害対策の効率が悪い。また、カラスについては、人の銃による追払いは難しい面がある。
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	イノシシやカラス等の被害対策をさらに充実させ、被害を減少させる。
課題(どういことをする必要があるので)	有害鳥獣の追払いや動向などを調査、情報を収集し、鳥獣対策の効率化を図るうえでの有効性を確認することが必要である。
上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	有・ 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	有・ 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等) 新規・拡大事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠です。

《事業の概要》

<p>事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業 期間、総事業費、事業 費内訳等記載)</p>	<p>ドローンを活用したびわ畑でのカラスの追払い調査や、有害鳥獣の動向調査を行い、有害鳥獣対策の効率化を図るうえで、当事業の有効性を検証し、農家等への情報提供等も行う。</p> <p>【事業期間】令和4年度 【事業主体】NPO法人長崎ドローン情報センター 【総事業費】895千円 【業務対象区域】市内全域 【業務内容及びスケジュール】</p> <p>[内容] ①ドローン飛行・効果実証を行う鳥類の撃退効果調査事業②イノシシ等の動向調査、関係者を交えた当該結果・活用方法の検討事業の委託</p> <p>[スケジュール] 4月:協定・契約締結 5月:びわ畑での追払い調査 6月:飛行場所の選定等 7月:飛行調査(飛行ルート・高度の決定 実際に飛行し写真・動画の撮影) 8月:データの分析、成果の共有 9月:事業の有用性の検討</p> <p>委託成果によっては2年目(R5)も継続の場合あり</p>
<p>業務量の増減</p>	<p>96時間増 (契約事務 20時間+追払い調査及び飛行調査 40時間+事業結果の検討等 36時間)</p>

市民等の参画と協働のまちづくり (取組みに☑をし、その内容を記載)		<input checked="" type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 参画 <input checked="" type="checkbox"/> 協働					
		市民協働による委託事業・農業者等への情報共有					
事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰り返し <input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)					
予算額		金額(千円)	国	県	地方債	その他	一般財源
	当年度	895				895	
	総額						
	財源名称	伝習所基金繰入金					
成果(活動)指標	指標(単位)	有害鳥獣による被害相談件数					
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	目標値	1300	1260	1220	1180	1140	
	成果指標及び目標値の説明	イノシシ等の被害に係る相談件数を目標値とした。					

評価結果

(1)今後の事業の方向性と理由	
<input checked="" type="checkbox"/> 採択	<input checked="" type="checkbox"/> 所管案のとおり <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 事業規模拡大 <input type="checkbox"/> 事業規模縮小 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
(2) 評価会議における指摘事項	
ドローンを活用し、イノシシ等の有害鳥獣の動向調査を行うことで、対策の効率化を図るとともに、ドローンを活用したカラス等の撃退効果について調査を行うものである。 情報を収集することで鳥獣対策の効率化が図られ、被害を減少させることにつながることから、事業の実施は適当である。	